



## 国東市のPRに役立ちたい

2/15

### ラッピングトラック出発式

国東市をPRするラッピングトラックが完成し、市役所駐車場で出発式が行われました。式典では、大分県トラック協会別荘支部の佐藤宗朝支部長が「協会として、市のPRに役立ちたいです」とあいさつ。株式会社テクノ（安岐町下原）のラッピングトラックの出発を、参加者が手を振って見送りました。



## 国東小3年生がソフトテニスで全国へ

2/21

### 国東サンウェーブ・全国大会出場報告

国東サンウェーブに所属する国東小3年の平原美咲さん<sup>①</sup>と島岡郁知花さん<sup>②</sup>が関係者と市役所を訪れ、県大会で優勝し「第22回全国小学生ソフトテニス大会」（千葉県）に出場が決まったことを報告しました。二人は「進んで声掛けをしながら、ミスのないプレーをしたいです」と決意を語りました。



## 親子で海の生物に親しむ

2/25

### ゆたかな海体験教室

市役所で「ゆたかな海体験教室」が行われ、市内外から10組の親子連れが参加。タコの宇宙食開発トークショーや、平床漁港でのカレイ放流体験などを通じて、参加者は海の生物に親しみました。鹿島悠惺さん（安岐中央小1年）は「放流したカレイが、大きくなってほしいです」と話していました。

## 国内外から集まった書道作品を表彰

2/25

### 第15回世界夢一文字コンテスト

「第15回世界夢一文字コンテスト」が武蔵中央公民館セントラルホールで行われ、受賞者が表彰されました。国内外から過去最高の5,681点の応募があり、最高賞の「国東半島あいルネサンス連盟会長賞」（全14人）に、市内から小坪瑞季さん（国東小4年）と田尾姫菜乃さん（安岐小6年）が選ばれました。



## 児童生徒が書いた字が橋名板に

2/9

### 「常磐橋・堅磐橋」橋名板設置式

旧武蔵西小学校前の武蔵川にかかる常磐橋と堅磐橋の架け替え工事が完了し、橋名板設置式が行われました。志成学園の児童生徒8名が橋名板を設置しました。「常磐橋」の橋名板を書いた8年生の末武祐海さんは「家の近くの橋に、自分が書いた字が残るのがうれしいです」と喜びました。



## 本格的な指導でプロを目指す選手を育成

2/8

### 大分国東リトルシニア・設立報告会

中学生の硬式野球チーム「大分国東リトルシニア」の設立報告会が市役所で行われました。チームは元高校野球指導者の塔鼻充さん（別府市）を監督に招き、国東野球場を拠点に活動します。金城駿さん<sup>①</sup>（国東中1年）は「練習を頑張って、将来はプロを目指したいです」と意気込みを語りました。



## プロ野球選手が子どもたちと交流

2/16・19

### 内川聖一選手「夢を語る授業」「野球教室」

大分Bリーグ（九州アジアリーグに所属する大分県のプロ野球チーム）の内川聖一選手が国東市を訪れ、市内の子どもたちと交流しました。2月16日は安岐小学校の5・6年生に授業を行い、夢に向かって子どもの頃から努力することの大切さを語りました。また、同19日には内川選手による野球教室が安岐野球場で開催され、少年野球チームに所属する子どもたちにバッティングなどの実技指導を行いました。

